

北海道スマート農業セミナー

本道農業の担い手の減少と高齢化に対応し、地域農業の活力の維持増進に向けた様々な取組が進められている中において、スマート農業技術の活用による対応に大きな期待が寄せられています。

特にGPSガイダンスシステムについては、道内への累計導入台数が7,000台と全国の8割を超えており、これまでの先導的な導入を経て、今後は地域の営農システムにどのように組み込んで活用するかが重要な段階となっています。

しかしながら、現場向けの情報の不足や検討体制の不備など、技術の導入・活用に当たっての課題は残されており、さらには、平成30年4月に本格運用が始まる準天頂衛星「みちびき」の農業利用に向けた情報も求められるなど、GPSガイダンスシステムに関連した技術情報のニーズが一層高まっていることから、今、あらためてGPSガイダンスシステムの農業利用について考えます。

- <日時> 平成30年3月23日(金) 13:00~16:30
<会場> かでる2・7 ホール (住所:札幌市中央区北2条西7丁目)
<テーマ> 「今、あらためてGPSガイダンスシステムの農業利用を考える」
<参集> 農業関係者、企業、研究機関、行政、一般(どなたでも参加いただけます。)

プログラム

13:00 挨拶

13:15 基調報告
「自動化、ロボット化の現状と今後について」
北海道大学大学院農学研究院

教授 野口 伸 氏

話題提供

13:55 (1) 「高精度GPSの効果と普及」
ホクレン農業総合研究所営農支援センター営農技術課

主査 木谷 祐也 氏

14:20 (2) 「土幌町におけるICTを活用した新しい農業への取組について」
土幌町農業協同組合農産部農産課

農産課長 仲野 貴之 氏

14:45 (3) 「今後のガイダンスの利用の方向」
農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点
大規模畑作研究領域長

村上 則幸 氏

15:10 (4) 「準天頂衛星システムが拓く次世代位置情報社会の到来」
三菱電機株式会社

担当部長 安光亮一郎 氏

15:35 (休憩)

15:45 パネルディスカッション
【コーディネーター】
北海道大学大学院農学研究院

野口 伸 氏

【パネラー】
ホクレン農業総合研究所営農支援センター営農技術課
土幌町農業協同組合農産部農産課
農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点
三菱電機株式会社

木谷 祐也 氏
仲野 貴之 氏
村上 則幸 氏
安光亮一郎 氏

16:30 閉会

<申込方法> 平成30年3月14日(水)までに、電子申請でお申込ください。
電子申請が利用できない場合は、裏面の参加申込FAX送信票でお申込ください。

- (1) 電子申請 : <https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=3j1CFaae>
(2) FAX : 011-232-1091
(3) 連絡先 : 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 北海道 農政部 技術普及課 山口 (TEL: 011-204-5380)

注: 衛星による全球規模の測位システムの名称は「GNSS」(Global Navigation Satellite System)とするのが正確と考えますが、当事務局では一般に分かりやすい「GPS」(Global Positioning System)で表記しています。ただし、各発表者の表記の統一は行っておりません。

